

# 東京クリニック

## 医薬品情報

---

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail [info@tokyo-clinic.jp](mailto:info@tokyo-clinic.jp)

日本標準商品分類番号	
873160	
承認番号	(55AM)第615号
薬価収載	1981年8月
販売開始	1981年9月

ビタミンK<sub>1</sub>製剤

# ビタミンK<sub>1</sub>錠5

貯法：室温保存  
使用期限：外箱に表示

VITAMIN K<sub>1</sub> Tablets 5

(フィトナジオン錠)

## 【組成・性状】

ビタミンK<sub>1</sub>錠5は、1錠中にフィトナジオン5mgを含有する。

販売名	剤形	色調	外形			識別コード
			表	裏	側面	
ビタミンK <sub>1</sub> 錠5	糖衣錠	白色	○	○	○	IC-422 VK5

## 【効能又は効果】

ビタミンK欠乏症の予防及び治療

- 各種薬剤（クマリン系抗凝血薬、サリチル酸、抗生物質など）投与中に起こる低プロトロンビン血症
- 胆道及び胃腸障害に伴うビタミンKの吸収障害
- 新生児の低プロトロンビン血症
- 肝障害に伴う低プロトロンビン血症

ビタミンK欠乏が推定される出血

## 【用法及び用量】

フィトナジオンとして通常成人1日5～15mg、新生児出血の予防には母体に対し10mg、薬剤投与中におこる低プロトロンビン血症等には20～50mgを分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

### 1. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置	機序・危険因子
クマリン系抗凝血薬 (ワルファリンカリウム)	併用に注意する。	ワルファリンの作用を減弱する。

### 2. 副作用（頻度不明）

(1)血液 類薬（メナジオン）で大量・長期投与により、高ビリルビン血症があらわれるとの報告があるので、血液凝固異常を考慮して慎重に投与すること。

(2)消化器 悪心、嘔気、軟便があらわれることがある。

### 3. 妊婦・産婦・授乳婦等への投与

妊娠末期の婦人には大量投与を避けること。[大量投与により、まれに新生児に高ビリルビン血症があらわれることがある。]

### 4. 適用上の注意

薬剤交付時

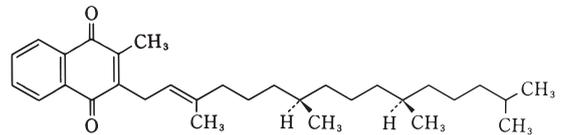
P T P包装の薬剤はP T Pシートから取り出して服用するよう指導すること。（P T Pシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜に刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている）

## 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：フィトナジオン（Phytonadione）

※※化学名：2-Methyl-3-[(2E, 7R, 11R)-3,7,11,15-tetramethylhexadec-2-en-1-yl]-1,4-naphthoquinone

化学構造式：



分子式：C<sub>31</sub>H<sub>46</sub>O<sub>2</sub>

※※分子量：450.70

※※性状：本品は黄色～だいたい黄色の澄明な粘性の液で、においはない。ジエチルエーテル又はイソオクタンと混和する。メタノール又はエタノール(95)にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。

本品は光によって徐々に分解し、着色が強くなる。

## 【包装】

ビタミンK<sub>1</sub>錠5：1000錠（P T P）

## 【文献請求先】

株式会社イセイ 学術課

〒990-2495 山形市若葉町13番45号 TEL 023(622)7755

## ※【長期投与医薬品に関する情報】

本剤の適応疾患（効能・効果）のうち「ビタミンK欠乏症」、「ビタミンK欠乏症による凝固因子欠乏症」は、厚生省告示第73号（平成12年3月17日付）に基づき、1回30日分投薬が認められています。



製造発売元  
株式会社イセイ  
山形市若葉町13番45号※